

新穂

資料館 友の会だより

第六十一号

長者ヶ平遺跡出土品

佐渡市文化財指定記念企画展

「縄文爆発

―縄文時代中期の佐渡―」

展示期間

令和7年7月5日（土）から

令和7年8月31日（日）まで

佐渡市職員による展示説明会

令和7年7月5日（土）10時

※申込×切 7月3日（木）

令和7年8月2日（土）15時

※申込×切 7月31日（木）

記念報告会

令和7年8月2日（土）13時

※申込×切 7月30日（木）

会場…トキのむら元気館

（先着順定員100名）

記念報告

「長者ヶ平遺跡の調査と

国指定史跡への歩み」

佐渡国小木民俗博物館 高藤一郎平

「縄文SDGs

佐渡市の遺跡から探る縄文の生活」

佐渡市世界遺産課 相羽理恵

各申込・問い合わせ先

佐渡市役所世界遺産課（第2庁舎2階）

0259（63）5136

主催 佐渡市

新穂の歴史と民俗を考える会

後援 新穂銀山友の会

小木半島の中央部、海拔約180メートルにある長者ヶ平遺跡です。縄文人の見ていた景色を想像しながら展示を見、報告を聞きたいと思えます。

上田文先生の市民大学講座での

演題が決まりました

土田麥僊 2つの出発点

―佐渡にある作品から見てくること―

日時…9月9日（火）18時30分

会場…アミューズメント佐渡小ホール

上田先生からのメールには次の一文がありました。

昨年、新穂にうかがった時に拝見した少年時代の作品について考察し、京都で活躍した麥僊にとつて郷里の佐渡がどういう存在であったのか考えて見たいと思っています。

（稲穂のつぶやき）

「友の会だより 第五十九号」で、真野窯（田村吾川）とすべきを（田川吾川）と誤記してしまいました。ご来館の方よりご指摘いただきました。申し訳ありませんでした。お詫びし、訂正いたします。

このたよりをお届けできる頃は桜桃の収穫をしているはずだ。柿の摘みはどこまで進んでいるだろう。中干しも気になる。天候の順調なことを祈る日々が続く。（若）

新穂歴史民俗資料館

0259（22）3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

（ただし、佐渡市民で65歳以上の方は無料となります。確認できる運転免許証などをご用意ください。）

※月曜休館・入館は午後4時半まで

（月曜祝日の場合は翌日休館）

【令和7年6月10日 発行】